
感染症対策と経済活動の両立： 不確実性がある中での政策判断

2021年3月7日

藤井大輔(東京大学)

仲田泰祐(東京大学)

- 年度末気の緩みリスク、変異株リスク等、様々なリスク
- 様々なリスクがある場合の意思決定
 - Bayesian (ベイジアン) な意思決定
 - Robust (ロバスト) な意思決定

不確実性がある中での2つの意思決定の仕方

■ Bayesian (ベイジアン) な意思決定

- 様々なケースを考慮(良いケースも悪いケースも)
- それぞれのケースが実際に起こりうる確率もある程度考慮

■ Robust (ロバスト) な意思決定

- 起こり得る最悪のケースのみを想定して政策判断
- その最悪のケースが100%起こると仮定して、他の可能性は一切考えない
- (論点をわかりやすくするため単純化してます)

不確実性と意思決定

- Bayesian (ベイジアン) な政策判断
 - もっとも可能性が高いシナリオで再度緊急事態宣言発令リスクが低いならば、段階的に経済活動再開を考え始める
 - 様子を見ながら「経済促進ペース」を調整していく
 - 「リスク管理」的な政策運営
- Robust (ロバスト) な政策判断
 - 新規感染者数を出来るだけ下げてから、経済活動再開

不確実性と意思決定（別の文脈I）

- 地震に対する備え
 - 明日、大地震が起こるリスクはゼロではない
 - Bayesianな個人＝備えをしつつ普通の生活続ける
 - Robustな個人＝明日大地震が必ず起こると仮定して毎日行動

- Robustな個人は多分あまりいない

不確実性と意思決定（別の文脈2）

- 資産バブルで将来金融危機が誘発されるリスク
 - 金利を上げて現在の経済活動を犠牲にし、将来の金融危機リスクを減少
 - Bayesianな金融政策：金利を少しだけ上げて、現在の経済活動を少しだけ犠牲にする
 - Robustな金融政策：金利を大きく上げて、現在の経済活動をかなり犠牲にする
 - 参考資料：Ajello, Laubach, Lopez-Salido, and Nakata (2019) “Financial Stability and Optimal Interest Rate Policy,” International Journal of Central Banking. （Bayesianな金融政策とRobustな金融政策を比較）
- 上記リスクに関してはRobustな金融政策運営を行う中央銀行はない
 - FED View：金融危機リスクは金融政策ではなくマクロルーデンス政策で対処
 - BIS View：金融危機リスクをBayesian的に考慮した金融政策

- 毎週火曜日分析を更新

<https://Covid19OutputJapan.github.io/JP/>

- 質問・分析のリクエスト等
 - dfujii@e.u-tokyo.ac.jp
 - taisuke.nakata@e.u-tokyo.ac.jp